



写真:古宇郡漁協
神恵内地区女性部の皆さん

見どころ・食べどころ満載

北海道

hokkaido

岩宇エリア

gan-wu

2023夏

岩宇エリア
gan-wu area



泊村、共和町、岩内町、神恵内村の4町村からなる岩宇エリア。

積丹半島の西岸に広がるこの地は

豊かな自然と郷土文化にはぐまれ、人々の温かさに包まれている。

観光シーズン真っ盛りの夏、見どころ、食べどころ盛りだくさんのこの地を訪れた。

目次

P2~3 } お土産品・お食事処

P4 } オススメ観光・文化施設

岩内町

「いわないちょう」

岩内町 荒井高志さん



「もっと飲みたい!」
と思えるビールを
つくりました!



イワナイブルワリー&ホテル クラフトビール

道内で初めてホップが発見された地、岩内で「飲みやすさ」にこだわったクラフトビールを売り出した。岩内の海洋深層水を使うなど材料を厳選し、情熱を注ぎ込んで作ったIPA、ペールエールなど4種類が定番。季節に合った新作も販売する。

Data 住所 岩内町野東505
電話 0135-62-5101
営業時間 18:00~21:00
定休日 月、火曜日

ふるさと納税は
こちらから



古宇郡漁協 とまりカブトサーモン

泊村の新たな特産品「とまりカブトサーモン」が昨年からふるさと納税の返礼品となっている。丹念に養殖したサーモンの鮮度を保ったまま加工しており、ほどよい脂乗りで、臭みが少ないのが特徴。村を挙げておすすめしている逸品だ。

ふるさと納税は
こちらから



問い合わせ先
泊村産業課
TEL 0135-75-2101

魚類養殖部会長
小林辰義さん

手塩にかけた自信作さ
刺身にしても
焼いてもうまいよ!



泊村

「とまりむら」

泊村をもっと
知りたい



北緯43度 すごい定食



岩崎 隆弘さん

地元の海産物や野菜が並ぶ直売所に、食堂を併設した「北緯43度」。食堂では焼き魚定食を中心に提供している。その中で、季節の魚をこれでもかと盛り付けた一番人気の限定メニューが「すごい定食」(1500円)。味、ボリュームともに大満足だ。



Data 住所 岩内町万代47-9 / 電話 0135-62-8343
営業時間 10:30~14:30 / 定休日 水曜日



岩内町 エリアマップ

平安荘 マグロ丼W盛



来客が途絶えない人気店。店主が選り抜いた海の幸を、井からあふれんばかりに盛り付けたボリューム満載のメニューが特徴だ。「マグロ丼W盛」もその一つ。マグロの身は厚く、食べ応えは抜群。なのに値段は1500円と、お得感満載だ。



店主
浜田 真澄さん

Data 住所 泊村郷村68-1 / 電話 0135-75-3871
営業時間 11:30~14:00、17:00~20:00 / 定休日 日曜日
※夜(17:00~)および土曜日は、事前予約要

共和町

「きょうわちよう」

共和町をもっと
知りたい



神恵内村

「かもえないむら」

勝栄鮓 おまかせ12貫



「神恵内村といえば勝栄鮓」。創業48年、行列ができる大繁盛の寿司屋だ。大将が握るネタは鮮度が高く、大ぶりで、口いっぱいにおいしさが広がる。ネタの種類豊富な「おまかせ12貫(3500円)」が特に人気。夏は神恵内産のウニ丼も提供する。



大将
佐藤 和則さん

Data 住所 神恵内村大字神恵内636-5 / 電話 0135-76-5841
営業時間 11:00~14:00 / 定休日 月曜日

古宇郡漁協 和洋中3種の魚の びん詰めセット

神恵内地区女性部が作る100%地元産の鮭フレークに、ご飯に合う「ソイのルーローハン」、パスタなどにぴったりの「ハーブとオイルのサクラマス」という、風味豊かな2商品が仲間入り。道の駅「オスコイ!かもえない」で販売し、ふるさと納税の返礼品にもしている。

問い合わせ先
古宇郡漁協
TEL 0135-75-3111



ふるさと納税は
こちらから



三田牧場 ジェラート

甘みとコクが深く、後味すっきりのアイスクリューを全国に届けている三田牧場。この5月、雄大な自然を眺めながらジェラートを味わえるカフェも牧場内にオープンした。5種類の味をそえたジェラートは、カフェ限定のプレミアムな一品だ。



ふるさと納税は
こちらから



Data 住所 共和町小沢760-1 / 電話 0135-72-1412
カフェ営業時間 11:00~16:00 / 定休日 木曜日

おいしさを
ぎゅっと閉じ込めました
牧場にてご賞味を!

牧場長
大田 篤志さん



神恵内地区女性部会長
村田 由紀子さん

レトルトになって
一層食べやす
くなりました!

神恵内村をもっと
知りたい



共和町をもっと
知りたい



岩宇4町村

オススメ観光・文化施設



岩内町

いわないオートキャンプ場
マリンビュー



海、山、緑、星空・・・
雄大な岩内の景色を堪能

高台に位置するキャンプ場からは岩内の町並みと日本海を一望することができ、雄大な景色を堪能できる。「日本夜景遺産」にも認定された岩内の夜景や満天の星空も美しく、非日常感を演出する。センターハウス、炊事棟、トイレ棟を完備しており、設備も充実している。遊具もあり、家族でも十分楽しめる、リフレッシュできる場所だ。



岩内町観光経済課
釜谷 承吾さん

Data 住所 岩内町字野東350-8 / 電話 0135-61-2200 / 利用期間 4月～9月 Web予約可能 / 料金 中学生以上1000円 小学生500円+サイト使用料(1泊1000円～12000円)

泊村

鯉御殿とまり



ニシン漁の繁栄ぶり
後世にいきいきと伝える

泊村でニシン漁が始まったのは約300年前。明治の全盛期には50を越える「鯉番屋」が立ち並んだ。親方の川村慶次郎氏が建設した「旧川村家番屋」と、武井忠吉氏が建てた「旧武井邸客殿」を復元した館内には、当時のニシン漁の様子を物語る貴重な生活資料の数々が展示されている。郷土の文化を後世に伝える資料館だ。



館長
増川 佳子さん

Data 住所 泊村大字泊村59-1 / 電話 0135-75-2849 / 開館時間 9:30～16:30(4月～11月) / 休館日 月曜日 / 観覧料 大人300円 小中学生100円 団体(10人以上) 1人200円

神恵内村

日本郷土玩具館
童心館



全国各地の昔のおもちゃ
4000点が大集合

札幌市在住の郷土玩具収集家から神恵内村が玩具を買い取り、1998年にオープンした。施設は、廃校になった小中学校を再利用。1階には「面」や「絵馬」「鞠」などを、2階には和風や民芸工芸品などを展示している。子どもの頃を思い出し、懐かしむことができる郷土玩具が、時代を超えて脈々と受け継がれている。



館長
板倉 宏至さん

Data 住所 神恵内村大字珊内村256 / 電話 0135-77-6577 / 開館時間 10:00～16:00(5月～10月) / 休館日 火曜日 / 入館料 大人400円 中学生300円 4歳以上小学生まで 200円

共和町

かかし古里館



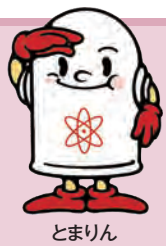
農家の歴史と生活の様子
豊富な展示品で理解

共和町の主産業である農業に関わった人々の開拓や生活の歴史を伝えている施設。地元から寄贈された農機具類や生活用具など約1200点や、町恒例の「かかしコンクール」の入賞作品を展示している。「収蔵展示室」は昭和8年に建築された旧幌似小学校を復元し、当時の姿そのままの建物を展示室として活用している。



指導員
宮崎 勝雄さん

Data 住所 共和町南幌似103-13 / 電話 0135-73-2617 / 開館時間 9:00～17:00(4月～10月) 10:00～16:00(11月～3月) / 休館日 月曜日、年末年始 / 入館料 小学生以上100円



原子力PRセンター
とまりん館

来館者とのふれあいを通じて、原子力発電に親しみをもってもらいたいことを目的に、1991年6月に開館。「原子力展示」、地元を紹介した「地域展示」、科学に親しむ「科学展示」などの展示棟および25mの温水プール棟からなる施設です。

原子力展示コーナーでは、泊発電所3号機をモデルとした「リアルスケールの体験性」をコンセプトに、実物大の原子炉や蒸気発生器の模型の中で仕組みを体感できるなど、より楽しみながら原子力発電に対するご理解を深めていただけます。

当館の愛称「とまりん館」は、泊発電所のマスコットキャラクター「とまりん」に由来します。



原子力PRセンター
「とまりん館」の外観



原寸大の原子炉容器で
核分裂のしくみを体感できる



実験工作教室で
賑わう館内の様子

住所 古宇郡泊村大字堀株村古川45番地1
開館時間 9:00～17:00(プール休止中)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
電話 0135-75-3001

見学 入館無料・事前申込不要。

泊発電所の見学を
ご希望の方はこちら

